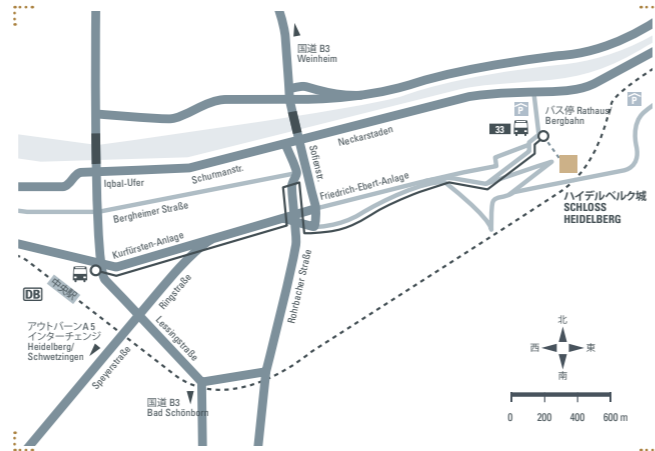




ロマンチックそのもの—世界で最も有名な城址

ハイデルベルク城

アクセス



交通の御案内

公共交通機関御利用の場合、ハイデルベルク中央駅でバス33番に乗車。停留所ベアクバーン (Bergbahn) で登山鉄道に乗り換え、ケーブル鉄道シュロス (Schloss) 駅下車。

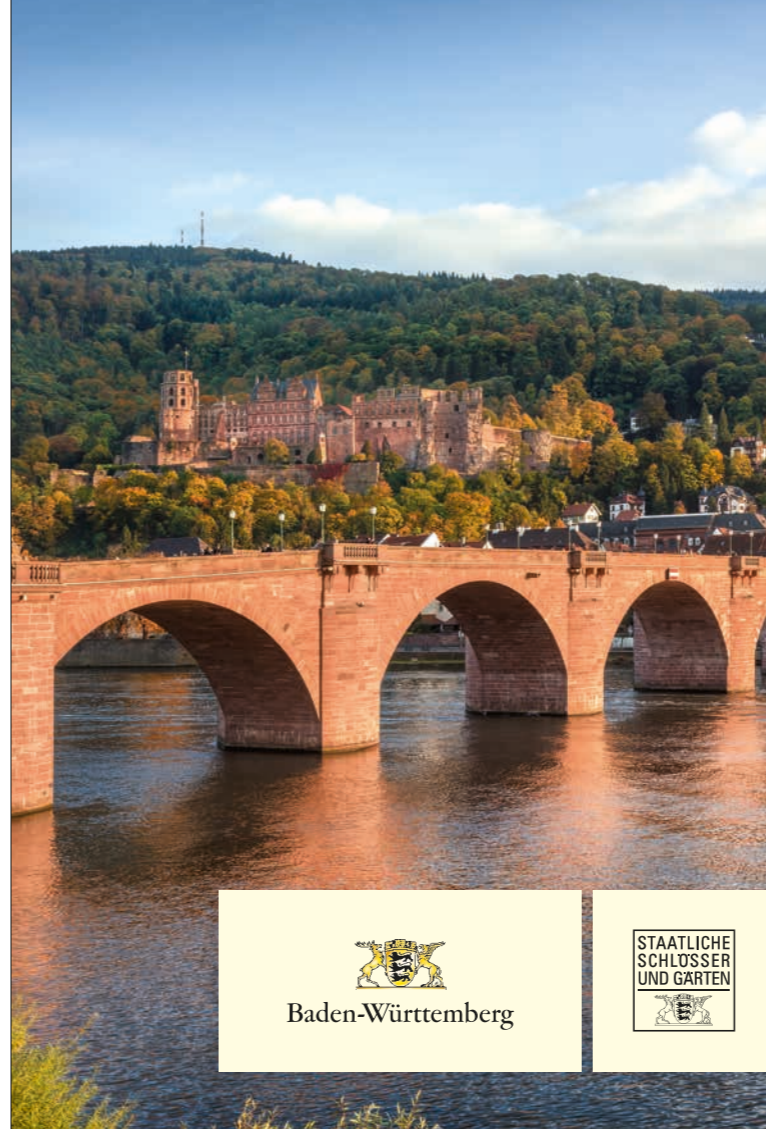
全管轄文化遺産に関する情報

バーデン=ヴュルテンベルク州立宮殿および庭園
Schlossraum 22a - 76646 Bruchsal・ドイツ

ホットライン +49(0)72 51.74-27 70
毎日8:00~20:00(予約サービスなし)
info@ssg.bwl.de



www.schloesser-und-gaerten.de/en



👑 季節がいつでもであろうと、城の中庭は訪問する価値があります

ロマン派の憧れの地

絵画のように美しい風景に溶け込むハイデルベルク城は、四季を通して情緒豊かな趣を演出します。テラスから見下ろすネッカー川とハイデルベルクの街並みは絶景です。

ヨーロッパ史において重要な役割を果たしたかつての居城は、力強い姿に今もその威厳を留めています。繰り返される戦いやはかない栄華の象徴として、19世紀のドイツロマン派がモチーフとして好んだのも納得がいきます。城と要塞という2つの機能が融合しているのもこの城の特徴です。巨大な塔や、アーチ型の屋根を持つ城壁内部の秘密の回廊が、要塞としての堅固な防衛能力を物語る一方、中庭を取り囲んでいるのは、代表的な宮殿建築のファサードです。宮殿建築は比類のない彫像で飾られており、ルネサンスの宝です。



Baden-Württemberg



写真 SSG/LMZ, RfH, 1 Günther Boverl, 2, 3, 6 Nils Schubert, 4, 7 Achim Merde, 5 Milke Niekraner // 写真 © www.jugendmusiktour.de

SSG_OBEX_117_Heidelberg_1_01_21-22

華麗な彫像で飾られているオットハイน์リヒ館は、アルプスの北における最初期の極めて重要なルネサンス建築に数えられています。フリードリヒ館のファサードは、歴代プファルツ選帝侯の肖像画の並ぶ廊下によって、またしても観光客の目を引きつけ、他方、その内部には歴史的な内装が隠されています。14世紀にライン宮中伯が選帝侯となったのを機に、建築的な変更が数多く実施されました。

当時、世界に名を知られたルネサンス式庭園、ホルトウス・パラティヌス (Hortus Palatinus、ラテン語で「プファルツの庭」の意) や、巨大な大樽、ドイツ薬事博物館も一見の価値があります。

世界中から年間100万人もの観光客を惹き付けるハイデルベルグの壮大な古城。19世紀初頭以来、ロマン主義を代表する存在です。

ここより印象深い場所はどこにもないといついでしょ。ネッカー渓谷の砂岩からなるその姿は赤みを帯び、緑深いケーニヒシュトゥールの北壁を背にそびえ立ちます。このシルエットこそ、ハイデルベルク旧市街のイメージを形作っています。

輝かしく変化に飛んだハイデルベルク城の歴史は、後にプファルツ選帝侯となるライン宮中伯がここに居を構えた時に始まります。歴史上、初めてこの城が言及されたのが、1225年です。それからまもなく、ルネサンス期の最も代表的な居城の一つとして、増設されることになります。

ドイツルネサンス期の珠玉オットハインリヒ館



19世紀には豪華な装飾が加えられた。漆喰の天井や木と砂岩からなる門が印象的なフリードリヒ館

ルネサンスの壮大な建築

30年戦争まで、ハイデルベルク城には帝国内でも重要な宮廷が存在していました。選帝侯が積極的に建築に取り組んでからは、堅固さと時代を代表する様式を併せ持つアンサンブルが完成しました。ガラスの広間棟、オットハインリヒ館(Ottheinrichsbau)、フリードリヒ館(Friedrichsbau)、そしてイギリス館。これらはすべて、ルネサンス期に作られた、壮大な建築芸術です。見事なファサードを誇るこれらの建物に囲まれた中庭は、威厳ある、格調高い雰囲気包まれています。

フリードリヒ館から誇り高く見つめるプファルツ選帝侯の先人たち



多くの彫像が宮殿を飾る。写真はプファルツ選帝侯フリードリヒ4世の立像

戦争と自然災害による破壊

しかしこの城は17世紀末に、プファルツ継承戦争でフランス軍に何度も攻撃を受け、破壊されることになります。「ハイデルベルク城のライトアップ」は、現在、当時の破壊の様子を年に何度も盛大な花火で演出しています。長い間、最低限の修復しか行えないままでいた城は、1764年、稲妻が2度立て続けに落ちるとい自然災害によって深い痛手を受けました。かつての壮麗な宮殿はほとんど完全に燃え尽きてしまい、——そして、廃墟となったのでした。

城と庭園—神話とロマンチズム

19世紀には、城の廃墟はロマン派印象画の典型的題材となり、さらに歴史主義における国民的記念物となりました。街を見下ろす見事な建築芸術とその庭園に広がる神話、それがホルトゥス・パラティヌス(Hortus Palatinus、プファルツの庭園)で、選帝侯の最後の建築計画でしたが、完成することはありませんでした。人工的に造られた高台と造園の一部は、17世紀に「世界八番目の不思議」とも称された野心的なプロジェクトの名残を今も留めています。ハイデルベルク城は今も変わらずに人々を魅了し続けています。

観光案内

開館時間	4月1日～10月31日	11月1日～3月31日
城	月～日 8:00～18:00 内部の見学はガイドツアーの場合のみ可能。最終入場は各開館時間の30分前。 12月24日と12月31日は午後閉館、12月25日は終日閉館。	月～日 8:00～18:00
ドイツ薬事博物館	月～日 10:00～18:00 最終入場は各開館時間の20分前。 12月24日と12月31日は午後閉館、12月25日は終日閉館。 1月7日の開館時間は13:00～18:00。	月～日 10:00～17:30
城の庭園	終日自由に入出入り可能。	終日自由に入出入り可能。

ガイドツアー	4月1日～10月31日	11月1日～3月31日
城 (ドイツ語のガイドツアー)	月～金、11:00～16:00の1時間毎に実施; 土・日、10:00～16:00の1時間毎に実施	月～金、11:00、12:00、14:00、16:00; 土・日、11:00～16:00の1時間毎に
城 (英語のガイドツアー)	月～金、11:15～16:15の1時間毎に実施; 土・日、10:15～16:15の1時間毎に	月～金、11:15、12:15、14:15、16:15; 土・日、11:15～16:15の1時間毎に

団体ガイドツアーは参加者との取り決めに従って実施。特別ガイドツアーはウェブ上のプログラムおよび参加者との取り決めに従って実施。

入場料	4月1日～10月31日	11月1日～3月31日
城 (ケーブルカーの利用、城の中庭、大樽、ドイツ薬事博物館を含む)		
大人	9.00 €	9.00 €
割引	4.50 €	4.50 €
ガイドツアー (城の入場券に追加)		
大人	6.00 €	6.00 €
割引	3.00 €	3.00 €
家族	15.00 €	15.00 €
多言語オーディオガイド		
5.00 €	5.00 €	5.00 €
団体 (20人以上)	5.40 € (1人あたり)	5.40 € (1人あたり)

バリアフリー、入場割引、特別ガイドツアーおよび訪問に関するその他の重要なお知らせはウェブサイトに掲載しています。

お問い合わせ先

ハイデルベルク城
69117 Heidelberg

ハイデルベルク案内所
電話 +49(0)62 21.53 84 72
www.schloss-heidelberg.de/en

サービスセンター
電話 +49(0)62 21.6 58 88-0
FAX +49(0)62 21.6 58 88-18
service@schloss-heidelberg.com